

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

チャトゲコナジラミの発生状況（技術情報第 18 号）について（送付）

このことについて、下記のとおり発生状況調査を行ったので、結果をお知らせするとともに、今後の拡大防止のための参考資料としてご活用願います。

記

1 作物名 茶

2 病害虫名 チャトゲコナジラミ

3 これまでの経過

- ・平成 21 年に福岡県と大分県で発生が確認されたため、23 年 3 月に県境付近の県北の茶園で調査を実施。
- ・23年11月に鹿本地域の茶園でトゲコナジラミ類の幼虫が寄生しているのが確認されたため調査を実施した結果、複数の茶園で「トゲコナジラミ類」の幼虫を確認。
- ・久留米大学の上宮博士に同定を依頼したところ、チャトゲコナジラミと同定されたため、11月30日に特殊報を発表。

4 発生の状況

(1) 分布調査

- ・平成23年11月及び平成24年1月～3月に県下9地域で調査を実施した結果、鹿本14ほ場、菊池4ほ場、阿蘇2ほ場、上益城1ほ場で発生を確認した。

チャトゲコナジラミ発生状況調査結果

地域名	調査日	発生ほ場数 ／調査ほ場数	地域名	調査日	発生ほ場数 ／調査ほ場数
宇城	H24. 3	0 / 1	上益城	H24. 3	1 / 5
玉名	H23. 11 H24. 2	0 / 4	八代	H24. 3	0 / 4
鹿本	H23. 11 H24. 2	14 / 15	芦北	H24. 1	0 / 5
菊池	H23. 11 H24. 2	4 / 8	球磨	H24. 2	0 / 5
阿蘇	H24. 2	2 / 3			

(2) 発生の特徴

- ・寄生葉率 100%のほ場が複数地点で確認されたことから、1年以上前に熊本県へ侵入し、発生量の増加にともない分布が拡大しつつあると考えられる。
- ・また、発生ほ場は、他県の発生地域に隣接する県境付近に集中している。

3 防除対策

- (1) 越冬した幼虫は、茶園周縁のすそ部葉裏に寄生しているので(図1)、よく観察し、早期発見に努める。特に発生確認地域及びその周辺の園は注意する。
- (2) 成虫(図2)は新葉に集まるとともに、他のコナジラミ類と同じく黄色に誘引されるため、黄色粘着トラップを設置し、発生を確認する。
- (3) 発生が確認された園では、若齢幼虫発生期をねらい薬剤防除を行うが、防除適期は成虫の発生が収まった頃である。なお、葉裏に十分な薬剤がかかるよう、薬液は10a当たり400L使用し、すそ部から茶株頂上部へ向け、斜め上方に吹き上げるように散布する。また、散布前にすそ刈りを行うと、防除効果が高まる。
- (4) 一番茶あるいは二番茶摘採後に中切り、深刈りにより寄生葉を除去し、幼虫の生息密度を下げる。なお、せん枝した枝葉は本種の発生源となるので、放置せず土中に埋設する等適切に処理する。
- (5) 発生地域からの苗木、生葉及び人等の移動による本種の拡散に注意する。



図1 チャトゲコナジラミ幼虫



図2 チャトゲコナジラミ成虫

熊本県病虫害防除所
担当：清永
Tel 096-248-6490
FAX 096-248-6493